

海活動（シーカヤック・いかだ遊び）確認事項

1 活動の魅力

- 奥松島の自然に触れることができます。
 - ペアやグループで協力する大切さを学ぶことができます。
 - 試行錯誤をして課題を解決し、達成感を味わうことができます。

2 活動に当たって

- (1) 団体の責任者・引率者は参加者全ての健康状態を確認します。
- (2) ライフジャケットを必ず着用します。
- (3) 活動前にカヤックの操作方法やいかだ作りの説明を受けます。
- (4) カヤック・いかだの準備や後片付けは団体で行います。
- (5) 災害等緊急時には所員の誘導にしたがって避難します。
- (6) 活動中は呼吸に支障をきたすためマスクを外します。
- (7) 当日までの海況・天候によって、実施の可否を所員が決定します。
(天候不良や波の状況により、前日や活動日当日の朝に連絡をさせていただく場合があります。)
- (8) 活動中に所員から指示があった場合は、その指示に従ってください。(活動の中断、避難等)
- (9) 午前中に海活動がある場合、海活動時間の関係で食堂の利用はできません。

3 活動内容について

	いかだ遊び	シーカヤック
時 期	6月～9月（※気象・海況条件・開口漁業により実施不可の場合あり） ※シーカヤックは、5月下旬、10月上旬の実施可能	
開始時刻	※午前 9：30 午後 1：30	
場 所	東松島市宮戸島 大浜または月浜	
費 用	無料	監視艇代 10,000円 (令和7年度現在)
人 数	1艇6人乗り×最大12艇＝72名	1艇2人乗り×最大10艇＝20名

※

開口漁業とは、地元の漁師の方々が一斉に漁をすることで、監視艇出航が不可となります。
※開始時刻とは、着替え等準備を済ませ、参加者が大浜倉庫（月浜）に集合した状態です。

4 その他

- 服装・準備物については「シーカヤック・いかだ遊び体験活動の流れ」、「プログラムガイド」を御覧ください。詳細な体験活動の流れについては次ページの指導資料を参考にしてください。
- 上記の人数は1度の最大数です。例えば、シーカヤック体験活動については、団体40名で、貝拾い活動等と組み合わせて実施することで、前半、後半で20名ずつ実施ということは可能です。

いかだ遊び体験活動の流れ

指導資料

時間

場所

活動内容

- ・ 徒歩 20 分
- ・ 自転車 10 分
- ・ 車 5 分

約 1 時間半

コテージ or
野炊 B 棟

- ①着替えと靴を置く ※ブルーシートの設置
- ②持ち物：飲料、帽子

移動

大浜倉庫前

- ③ライフジャケット着用

砂浜へ移動

- ④いかだの材料を運ぶ
- ⑤説明を受ける

大浜もしくは
月浜湾内

- ⑥PP ロープを駆使していかだを作成→いかだ遊び

引率者・水着着用、海の中での安全指導
(いかだ 3 艇に対して 1 人支援)



活動終了 → 後片付け (長板以外の材料を持って倉庫前へ)

- ⑦下写真の BOX でジャケットとフロートを 2~3 回振るい洗いする。



約 15 分

所へ移動 → 着替えの手順

- ⑧ホースシャワーで体の砂を落とす。⑨着替え



野外炊飯 B 棟倉庫脇



コテージ



- ⑩コテージ現状復帰
○ブルーシートの片付け
○床をモップで拭く
○必要に応じて掃き掃除
※用具は給湯室に設置



シートはたたむ前に干す

30 分 ~ 1 時間

※すのこの設置・片付け

シーカヤック体験活動の流れ

指導資料

時間

場所

活動内容

- ・ 徒歩 20 分
- ・ 自転車 10 分
- ・ 車 5 分

約 1 時間半

コテージ or 野炊 B 棟

1.3km

大浜倉庫前

砂浜へ移動

大浜もしくは
月浜湾内

- ① 着替えと靴を置く ※ブルーシートの設置
- ② 持ち物：飲料、帽子

移動

③ ライフジャケット着用

- ④ 説明を受ける
- ⑤ 波打ち際にカヤックとパドルを運ぶ

⑥ パドルングの練習→出発

引率者・1 名以上カヤック乗船
・ 2 名位着岸時補助



活動終了 → 後片付け（パドルを持って倉庫前へ）

⑦ 下写真の BOX でジャケットを洗い、パドルの砂落としをする。



約 15 分

所へ移動 → 着替えの手順

⑧ ホースシャワーで体の砂を落とす。⑨ 着替え



野外炊飯 B 棟倉庫脇

※すのこの設置・片付け



女子入口

コテージ

男子入口

⑩ コテージ現状復帰

- ブルーシートの片付け
- 床をモップで拭く
- 必要に応じて掃き掃除
- ※ 用具は給湯室に設置



シートはたたむ前に干す

30 分 ~ 1 時間